

南アルプス市立八田中学校 前期自己評価書

平成24年8月17日(水)作成

学校長：中村 誠治

記述者：教諭 渡邊 弘子

1. 校訓 「日々新」

2. 本年度の学校教育目標

「知育・徳育・体育」の調和のとれた人間形成
は 勵んで学び、確かな知識を持つ生徒 (知育) → 知の力
つ 強い精神と身体を持つ生徒 (体育) → 体の力
た 助け合い、いたわり合う心を持つ生徒 (徳育) → 心の力

3. 学校経営方針

- (1)職員の創意・工夫により、開かれた特色ある信頼される学校づくりに努める。
- (2)生徒理解を深め、一人ひとりの良さや可能性が生かされるよう努める。
- (3)教職員としての資質能力の向上を図り、信頼される教育活動の実践・展開に努める。
- (4)家庭・地域との連携により、豊富な教育環境づくりに努める。

4. 生徒の努力目標

- (1)授業にしっかり取り組もう (主体的・能動的・積極的に取り組めたか)
- (2)さわやかに挨拶をしよう (今日の、この出会いを大切に出来たか)
- (3)思いやりの心を行動につなげよう (相手の身になって考え方行動できたか)
- (4)主体的に活動しよう (3本の木を大切にし創意工夫をもち取り組めたか)

5. 教師の努力目標

- (1)教育の原点を見つめ続ける教師 (教育の本質)
- (2)自らの資質・能力の向上を求める教師 (研修・研究と修業)
- (3)謙虚・誠実・真摯に指導・対応する教師 (教員としての姿勢・人間性)

6. 学校経営の努力点

- (1)調和の取れた人間関係をはぐくむ適切な教育課程の編成と実施に努める。
- (2)自ら学び、自ら考える学習指導に努め、確かな学力の向上に努める。
- (3)豊かな人間性を育み、心の安定を図る生徒指導に努める。
- (4)体力・健康・安全に関する指導の充実に努める。
- (5)地域との連携を深め、開かれた、信頼される学校づくりに努める。

I 全体評価

1. 教職員の自己評価

(1) 本年度の特徴

《A・B (肯定的評価) において》

①A・B (肯定的評価) の合計が90%未満の項目について
すべての項目で90%を越えている。

②A評価が10%以上 (2人以上) 向上した項目について

「学校運営 2・3・4・6」「教育課程 3・4・5・6」

「生徒指導 1・2・3・6」「特色ある学校 2」「開かれた学校 1」以上14項目

A評価が10%以上 (2人以上) 減少した項目については、0項目である。

《C・D (否定的評価) において》

③C (否定的評価) が10% (2人) 増えた項目については、0項目である。

D (否定的評価) は、学校運営3で、5% (1人) のみである。

④C・D (否定的評価) の評価がまったくない項目

「学校運営 1・2・4・5・6」「教育課程 2・4・5・6」「生徒指導 2・4・5」「特別活動 1・2・3」

「特色ある学校 1・2」「開かれた学校 1」以上18項目であった。昨年は10項目。

(2) 平成23年度より改善・向上した項目

すべての項目でほぼ同じか向上している。

特に、否定的な評価のうちD評価は1項目のみであった。

(3) 2学期の取り組み課題 (自由記述より)

個々にはすばらしい能力があるが、それを集団の中で生かせなかったり、力を合わせて向上する点で課題がみられると思う。2学期以降、その点を意識して学習や諸活動にあたりたい。

2. 学校生活に関する生徒アンケート

(1) 本年度の特徴

A・B（肯定的評価）の合計が80%未満の項目（全校集計から）について

○全27項目中、1項目である。昨年10項目であったことから、生徒が学校生活全般に渡り肯定評価している傾向が如実である。1項目は以下に示す。

学校運営1. 「あなたは、教室の前に掲示してある学校教育目標の達成のために何か具体的な努力をしていますか。」 (72%)

*唯一80%以下項目ではあるが昨年69%であることを考慮すると、わずかに向上傾向の兆しも伺える。

(2) 3年生の評価について 【昨年前期→本年前期】

①2年次よりA・B（肯定的評価）が向上した項目について

27項目中26項目である。特に嬉しいのは

学校運営2. 「あなたは、学校の教育活動の中で、『合唱活動・部活動・応援』に力を入れて取り組んでいることを知っていますか。」 (40%→97%)

②否定的評価(C・D評価)が高い項目(20%以上)について

1項目である。

生徒指導2. 「先生は生徒を正しいあり方を指導し、いけないことに対して素早く対応していると思いますか。」 (79%)

*他の26項目は、A・B評価（肯定評価）がすべて80%以上であった。

(3) 2年生の評価について 【昨年前期→本年前期】

①1年次よりA・B（肯定的評価）が向上した項目について

次の3項目である。

学校運営2. 「あなたは、学校の教育活動の中で、『合唱活動・部活動・応援』に力を入れて取り組んでいることを知っていますか。」 (50%→93%)

学校運営3. 「学校は、教育内容や生徒の活動の様子を保護者にお便り等で知らせていると思いますか。」 (84%→85%)

学校運営5. 「学校は、合唱などで地域在住の講師に来てもらうなど、地域と協力し合っていると思いますか。」 (90%→93%)

②否定的評価(C・D評価)が高い項目(20%以上)について

「学校運営1 (43%)」「教育課程1 (22%)・2 (32%)・3 (25%)・4 (27%)」

「生徒指導2 (22%)」「特別活動3 (28%)」「学校生活全般2 (22%)」以上8項目である。

(4) 1年生の評価について

1年生の否定的評価(C・D評価)が高い項目(20%以上)は1項目であった。

学校運営1. 「あなたは、教室の前に掲示してある学校教育目標の達成のために何か具体的な努力をしていますか。」 (76%)

*他の26項目は、A・B評価（肯定評価）がすべて80%以上であった。

D評価0の項目が17項目である。C項目も平均3.9人(4%)と2.3年生と比較して極めて少数である。

(5) 2学期の取り組み課題

①「学校運営1」については、「はつた」を頭文字とする学校教育目標が各教室の前に掲示しており、集会や各種通信等、機会を捉え日々啓蒙している。しかし、今回の学校評価結果から、生徒への浸透が不十分であることが明らかになった。目標はわかっているが今の活動との関連性、「どの目標達成に向けての取り組み内容なのか」ねらいの明確化が弱かったと推察・反省している。

今後、後期学校教育活動を通して、特に学園祭の「文化部門」「体育部門」の各内容が「知・徳・体」いずれの分野と関連しているのか、教育目標の実現のために“具体的な努力”をしている自覚を持ちながら活動できるように工夫すれば、生徒達がより主体性を發揮することが期待できる。生徒会との連携も不可欠である。ねらいや目的を提示し、活動ごとに「明確なねらい」と評価を意識して取り組む中で、今後も生徒達の「知・徳・体」の調和のとれた育成に尽力していきたい。

②「学校運営2」については、生徒達が大いに自覚して取り組んでいることがわかる。私たち教職員の指導力を各種研修を通して高め、日々の活動に一層活かしていくことが求められる。

「特色ある八田中」の3本柱である「合唱活動」「部活動」「応援活動」を通して学校目標の具現化を目指し継続的な取り組みを重ねていきたい。活動要素としての伝える力まさに「表現力」「コミュニケーション力」なくしては成立しない。人間関係形成能力向上の絶好の場面と捉えている。3本柱の集団活動こそ、「総合」「道徳」「特別活動」での学習成果が生徒達の実践力として教師が推し世れる機会もある。

今後5回行われる「教育心理プログラム」による研修機会を最大限活用し、教師の指導力を高めていきたい。夏休みの校内研修に講師を招きガイダンス的な研修はすでにスタートしたところである。

これらの努力が、「学校生活全般」や「学校経営方針」「学校運営1」の項目にも深く関わってくる。

- ③ 2年生の肯定的評価の低下現象について、当該学年職員は「中だるみ」のみではなく過渡時学級減で多人数学級になったことと併せて学年職員の大幅な入れ替わによる生徒の「とまどい」「不安」が現れないと分析している。4月当初生徒達から聞かれる声の中には「私たちの学年はどうなるのだろうか」「教室が狭い」「元の3クラスに戻れる方法はないのか」等、苦情が多くあった。この学校評価アンケートをその時測行ったら、否定的評価がより増えただろうと推測できる。徐々に落ち着きを見せて来た現状から、さらに2学期数々の学校行事を共にこなす経過で、学級の練・信頼感・連帯感を培わねばならない。今回の結果を真摯に受け止め、三年生に向かう後期は肝心な時期と心得、学校全体で組織的方策を見い出し、実践していきたい。

Ⅱ項目ごとの評価と具体的改善策

学校運営について	分析及び改善策
<p>自己評価</p> <p>(1) 「学校運営1 学校目標の達成のための具体的努力」は生徒の72%が肯定的、28%が否定的であった。その他は90~96%と極めて高い肯定評価である。教師はほぼ100%が肯定している。</p> <p>(2) 各学年・学級連携を始め 保健・園芸等各分野からも定期的に発信されており、保護者に生徒の様子を十分に伝えていると言えよう。 生徒も全体で93%が肯定している。</p> <p>(3) 「安全対策」は可能な限りのソフト・ハード面の充実を図ってきた。学校の現状を考慮すればまだ不十分であるが、現状ベストの評価であろう。</p> <p>(4) 「地域講師の活用など地域との協力」については教師・生徒ともに肯定的評価が高い。</p>	<p>(1) 「学校目標」は、教室内の最も目にしやすい場所に掲示してあるが、学校・教師の意図を具体的に個人的努力目標に細分化するまでの努力を要する。前項で詳しく触れたので、再載は控える。</p> <p>(2) 情報発信が家庭に伝わるかには課題がある。「保護者にお便りを渡す」の繰り返し指導の必要性がある。今年度全校配布文書時にはメール配信で確認を重ねている。 さらにはメール配信の活用拡大やホームページ更新等最新情報広報には改善の余地がある。</p> <p>(3) 「安全対策」は、避難訓練・防犯教育・安全教育等今後も継続し、さらなる対策を講じてより安全安心な学校にしていかなければならない。業者等に協力を呼びかけてはいるが「閉門」習慣も徹底である。また、自転車安全走行や下校時刻厳守等、生徒の自己管理意識には課題が多い。</p> <p>(4) 地域講師の活用など地域との協力」は前期は総合(合唱)講師に関する評価が中心である。平和教育の一環として、市内在住被爆者から被爆体験をうかがった。夏休みには学校応援団の方々による樹木剪定が行われた。 後期は「教育を語る会」開催・道徳公開でも最大限地域と連携協力を図りたい。</p>
<p>学年・学級運営について</p> <p>自己評価</p> <p>(1) 教育課程の6項目は生徒の83~90%が、教師は90~95%が肯定している。</p> <p>(2) 「教科指導」1 基礎基本の徹底と能力伸長・2評価について、特に1年生は両項目でD評価はただ1人である。</p> <p>(3) 「道徳の授業・道徳性」「学級会活動」「総合的な学習」については1年3年2年の順で肯定的であるという共通の特徴がある。2年生後期評価の推移を見守る必要性がある。</p>	<p>分析及び改善策</p> <p>(1) 時数の確保は各校ともに課題であり本校は短縮授業の導入で極力時数カットしない方針をとってきたが、可能な限り平常授業運営でゆとりを生み出したい。</p> <p>(2) 学習意欲は「確かな学力」の重要な要素である。学習習慣はそれを支えるものである。各教科担任は個人のそれぞれのつまづきを把握し、支援手立てを指導しなければならない。アンケートの自由記述に「数学のように英語も少人数で指導してほしい」という要望があった。英語は、学習指導要領全面実施に伴って週時数増の教科の一つである。人的配置も難しいが、放課後の「補習」や「朝の学習等時間を見つけ個人対応していきたい。</p> <p>(3) 集団活動のスタートは「話し合い」の成立である。学園祭・合唱コンクール等の取り組みを通して、教師はリーダーの育成や話し合いの方法論を確立し、「質の高い集団づくり」を目指す方向を確認した。</p>
<p>生徒指導について</p> <p>自己評価</p> <p>(1) 生徒指導上の課題は様々であるが、心の教育が叫ばれて久しい。中学生一般に「自他への敬愛」欠陥や携帯・ネットによるトラブル等潜在化傾向が指摘されている。本校も例外ではない。後期は行事が自白押しであり、時間を見つけて生徒との対話を仕組んでいく意識を維持することが教師に必要である。一学期末には県都少年課</p> <p>(2) A評価がB評価を上回っていることは「生徒指</p>	<p>分析及び改善策</p> <p>(1) 生徒指導上の課題は様々であるが、心の教育が叫ばれて久しい。中学生一般に「自他への敬愛」欠陥や携帯・ネットによるトラブル等潜在化傾向が指摘されている。本校も例外ではない。後期は行事が自白押しであり、時間を見つけて生徒との対話を仕組んでいく意識を維持することが教師に必要である。一学期末には県都少年課</p>

導」に共通した大きな特徴でもある。

(3) 学年比較すると、1年生の評価は全体的に高い。

指導官による学習会を開催、課題を共有したが、折りにつけ思い出させたい。

一人ひとりの「心の居場所」の確保も肝心である。「基本的生活習慣」については、生徒に肯定評価が高い。「あいさつをする。」「時間を守る。」「家庭学習をする。」「提出物を出す。」等、日常的に教師が指導し生徒が努力しながら、「勝り」として根付き、一層向上していくことを期待したい。話を聞く前後に「おねがいします。」「ありがとうございます。」という挨拶ができることも本校ならではの習慣であり、勝れる伝統の継承を意識させたい。

(3) 生徒指導全般を意図的・組織的に取り組んでいかなければならない。

(4) 多様な課題に対応するためには、「運営委員会」の中核機能やSC・保健室等との一層の連携強化が望まれる。

生徒 另U 活舌 努力 について

自己評価

- (1) 特別活動の4項目は生徒の85~90%が、教師は各項目とも90%~100%が肯定している。生徒の肯定評価がもっとも多いのは「部活動の主体性」の90%である。
- (2) 「進路学習や校外学習の主体的性」は、学年比較では、3年生はD評価0であり、A・B評価が90%と高い。

分析 及び 改善策

(1) 本校部活動は、学校生活に及ぼす影響は多大であることは明白である。後期は下級生へとバトンが渡る時期である。学園祭・新人戦・定期演奏会と活動成果が間われる機会がある。今後各部毎にC(check)・A(action)を重点的に行い、生徒の良さと活力を生み出す活動にしていきたい。

外部組織に所属し活躍が見えにくい生徒も年々増加傾向にあり配慮が必要である。

(2) 3年生は一学期末「卒業生に話を聞く会」を開催、より主体的な進路選択に大きく効果を上げていると推測できる。修学旅行記完成時期と重なっていることも影響しているであろう。

生徒 会ある 場

自己評価

- (1) 「合唱活動」は本校特色の筆頭に挙げられる。生徒の93%、教師は100%が肯定評価をしている。
- (2) 「数学少人数学習形態の授業」は、生徒の85%教師は100%が肯定評価をしている。

校 について

分析 及び 改善策

(1) 合唱の取り組みは2学期が山場となる。1学期の「独唱・合唱集会」指導の反省をしながら、学園祭・コンクールと伝統「合唱」の継承と新たな試みが展開されればと思う。歌うことを楽しいと表現できる生徒の育成は課題である。なお、「応援」も本校の特色である。「オール八田」パワーの結晶として生徒も実感が持てる活動である。上級生の温かいリーダーシップや質の高い集団行動について後期評価が待たれる。

(2) 2・3年生が対象となる「数学少人数学習形態」は大変学習成果をあげていると評価できる。

開 カー オレ た 学

自己評価

- 教職員のA・B評価が100%。生徒のA・B評価は88%である。

校 について

分析 及び 改善策

本校では大きく3種類の学校開放を実施しているが、来校数がもっと多いのは、学園祭や合唱コンクールなどの学校開放日である。子どもの活躍を見る楽しみは来校の明確な目的である。本年の「教育を語る会」は日曜日開催とし、多数の地域の方々や保護者来校を目的に計画している。

学 校 全

自己評価

- (1) 「学校生活が楽しい。」では1年生がA・B評価で92%に対し、2・3年生が84%。全校では87%。
- (2) 「授業はわかりやすい。」では1年生がA・B評価で92%に対し、2年生は70%、3年生83%。全校では82%。

活 言 全 痘

分析 及び 改善策

「学校生活が楽しい。」「授業がわかる。」ことが生徒達のモチベーションの原点といえる。2年生の生徒達も「慣れる」努力をしていると思われるが、学年や学級単位の活動等のような大きい集団でのメリットをより生かしていくための全校職員のバックアップ体制が要求されている。

(3) 2年生は昨年の1年生前期と比較すると「学校生活が楽しい。」はA・B評価で【89%→83%】、「授業はわかりやすい。」は【87%→73%】とともに低下。3年生は、昨年の2年生前期と比較すると、「学校生活が楽しい。」【81%→84%】、「授業はわかりやすい。」は【77%→83%】とともに上昇。
D評価は2項目合計3人と減少している。

アンケートで「学校が楽しくない」もしくは「授業がわからない」と回答した生徒がいる。時間がかかるかもしれないが、対話を重ね、教職員は意識して心の声を聞く姿勢で生徒に対応していきたい。「わかる授業」「楽しい学校」の創造に努めるのは言うまでもない。

IIIまとめ(成果と課題)

教職員自己評価のA・B評価が90%,生徒アンケートのA・B評価が80%以上という観点からは「肯定感と満足感」が伝わり、大きな教育成果のひとつとも言えよう。

特に3年生は前年に比べて向上しており、本校の取り組んできた2年間の成果が確実に表れている。反而、教職員と生徒間の微妙な差を詰めていくことが課題となる。具体的には忙しい中でも問題課題解決に一つひとつ丁寧に家庭と連携して取り組むことである。

2年生の評価が全体的に低いことに対しては、3クラスから2クラスになった時点でいろいろな問題が発生することは予想できた。2クラスになった厳しい現実を真摯に受け止め、学級担任はもとより、全校職員が心して場面を捉え声を掛けたり、深いかかわりを持って行くことが大切であるといえる。すぐにできうことから二学期具体的に動いていく「迅速さ」が求められている。2学期は三者懇談の日程を3日から4日に拡大しつつ「生徒と向き合う時間の確保」をまず始める。「ふれあいの日」運用について「運営委員会」で再確認もなされた。

教師一人の力は微力であるが、組織的に教師集団の力を結集する姿を生徒に示したい。

全国的にも中学校での「いじめ」が大きく取り上げられている。まさに「他山の石」として、本校の活動を見直したい。生徒の心の声に耳を傾け、生徒に寄り添いながら、心の通い合せることが大切である。「いじめを許さない」教育環境整備に、地域・家庭と積極的に連携していく必要性を切に感じる。「いじめ」は起こりうるという大前提に立ち、早期発見・早期解決にも心を砕くとともに、心の教育のより一層の充実を図っていきたい。

職員学校評価 (H24. 1学期用) 集計

この調査は、本校の1学期に行われた諸活動を中心に、生徒対象に実施する学校評価（アンケート）との比較を容易にできる職員用の学校評価（内部評価）です。下記の空欄には、生徒の成長や改善点、評価項目にないものとその解決のための具体例をあけて記入してください。なお、各項目の備考欄には、その項目の解決手段やアイディア等を記入してください（反省ではなく）。また、直接関わっていない（例えば、たよりの類を一切発行していない）先生は、他の先生方の様子の評価か無記入でお願いします。

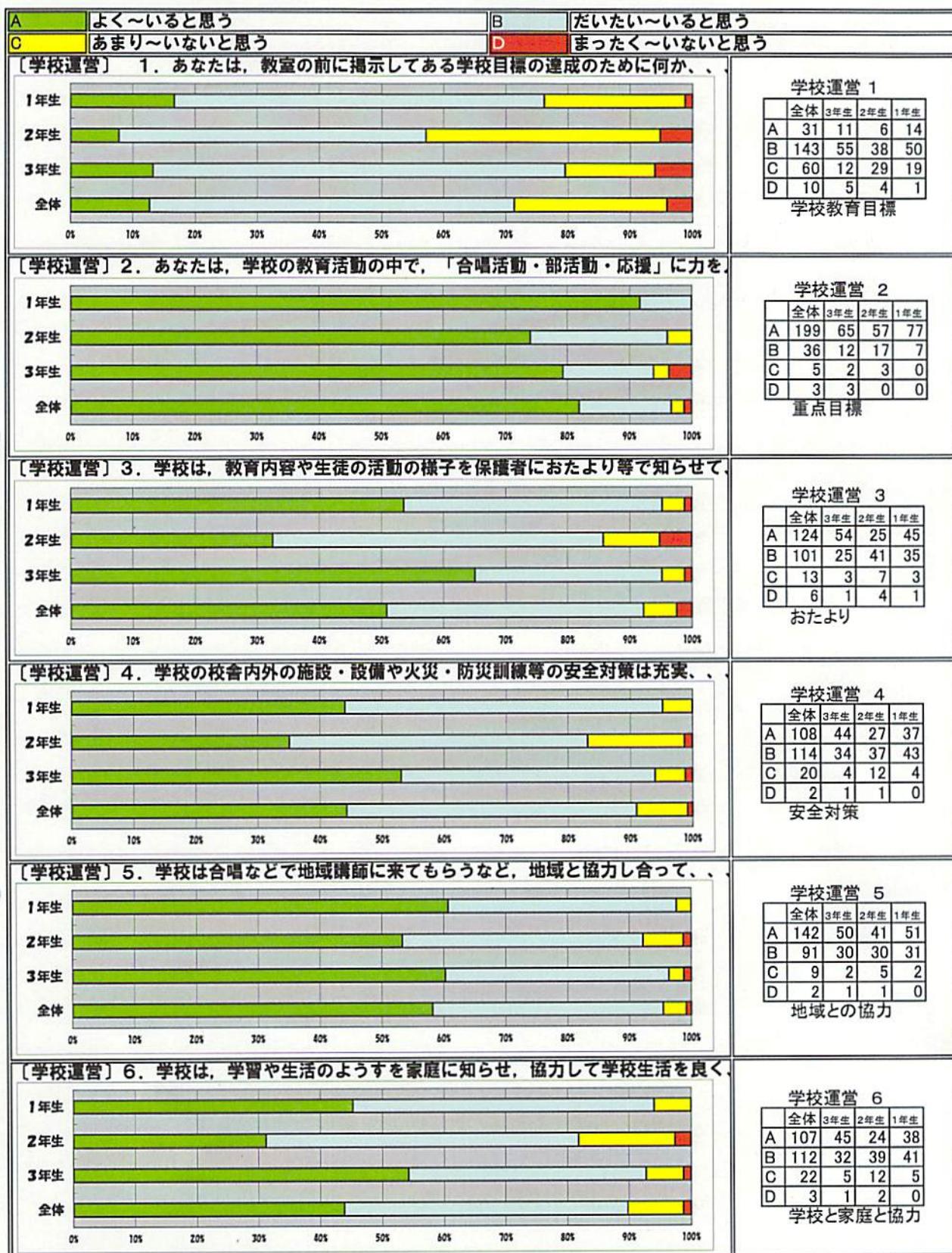
【評価】 A そう思う。B どちらかというとそう思う。C どちらかというとそう思わない。D そう思わない。
※直接該当しない職員は、無回答かわかる範囲で回答してください。

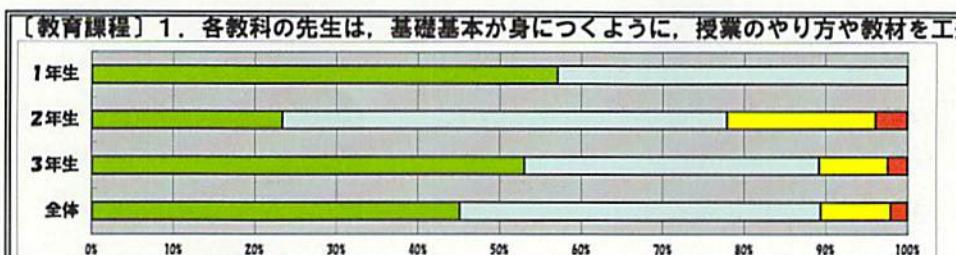
分野	No	評価項目	A 人數 %	B 人數 %	C 人數 %	D 人數 %	備考 (成果や改善点を)
			人數 %	人數 %	人數 %	人數 %	
学校運営	1	あなたは、学校教育目標の達成のために授業をはじめ努力している。	15人 7.5%	5人 2.5%	0人 0%	9人 4.5%	
	2	あなたは、学校の取り組み課題（重点目標）が「基礎基本（国語力・計算力）の定着」と「道徳教育・キャリア教育・総合学習の推進と充実」ということを知っている。	19人 9.5%	1人 0.5%	0人 0%	0人 0%	機会を捉えて、「3木の木」と話をしていて生徒にも浸透していると思われる。
	3	あなたは、教育内容や生徒の活動のようすを保護者に各個のねたよりや通信で知らせている。	15人 7.5%	3人 1.5%	1人 0.5%	1人 0.5%	
	4	あなたは、校舎内外の施設・設備や火災・防災訓練等の安全対策は充実していると思っている。	7人 3.5%	11人 5.5%	0人 0%	0人 0%	
	5	あなたは、合唱などで地域講師を活用するなど、地域と協力し合っていると思っている。	15人 7.5%	5人 2.5%	0人 0%	9人 4.5%	
	6	あなたは、生徒の学習や生活のようすを家庭に知らせ、家庭と連携して学校生活を良くしようとしている。	7人 3.5%	7人 3.5%	0人 0%	0人 0%	
教育課程	1	あなたは、基礎基本が身につくように、授業のやり方や教材を工夫している。	11人 5.5%	7人 3.5%	1人 0.5%	0人 0%	学力面で支援が必要な生徒へのフォローを怠る必要がある。つまづきテスト結果を今後の指導に生かしていきたい。
	2	あなたは、学習面（生活）で生徒の持っている資質や能力・実績や努力を適切に評価している。	9人 4.5%	10人 5.0%	0人 0%	0人 0%	
	3	あなたは、道徳の授業はもとより学校生活全体にわざとて適應性が高めようとしている。	7人 3.5%	11人 5.5%	1人 0.5%	9人 4.5%	
	4	あなたは、学級会活動を通して学校生活を向上させよう話し合いや取り組みをさせている。	6人 3.0%	13人 6.5%	0人 0%	9人 4.5%	
	5	あなたは、総合（音楽）を通して、生徒の音楽を愛好する心懃が高めていると思う。	7人 3.5%	12人 6.0%	0人 0%	0人 0%	
	6	あなたは、1学期の「総合的な学習」で講師の先生方の話や学年の取り組みが、生徒のためになつたと思う。	11人 5.5%	8人 4.0%	0人 0%	0人 0%	
生徒指導	1	あなたは、生徒に気遣い声をかけたり、それぞれに合ったアドバイスをしている。	9人 4.5%	10人 5.0%	1人 0.5%	0人 0%	話をする時間を作る。個に応じた対応をする。
	2	あなたは、生徒に正しい在り方を指導したり、他の教師と協力して生徒の問題行動に早く対応している。	11人 5.5%	9人 4.5%	0人 0%	0人 0%	
	3	職員同士、職員と生徒、職員と保護者、それぞれが相互に生徒を良くしようとしている。	11人 5.5%	8人 4.0%	1人 0.5%	0人 0%	
	4	あなたは、生徒のあいさつや時間指導、家庭学習や提出物等、基本的生活習慣を向上させようとしている。	9人 4.5%	11人 5.5%	0人 0%	9人 4.5%	
	5	あなたは、生徒が学校生活全体を通してのびのびと学んだり、安心した学校生活を送れるようにしている。	8人 4.0%	12人 6.0%	0人 0%	0人 0%	いつも時間に追いつかれただけない。50分授業の実施・昼清掃ができるだけなくす。
	6	あなたは、生徒が休日（土日・祝祭日）の過ごし方を充実するよう指導している。	6人 3.0%	13人 6.5%	1人 0.5%	0人 0%	
特別活動	1	あなたは、道路学習や校外学習等に向けた取り組み等において、生徒に目標を決めさせたり主体的に学習できるように指導している。	7人 3.5%	12人 6.0%	0人 0%	0人 0%	
	2	あなたは、校外学習（修学旅行・宿泊学習）や学校行事が生徒の成長や学校生活に役立つなど、充実するよう指導している。（してきた。）	11人 5.5%	7人 3.5%	0人 0%	0人 0%	
	3	あなたは、生徒が生徒会活動や委員会活動等に積極的に取り組めるように指導している。	10人 5.0%	8人 4.0%	0人 0%	0人 0%	月一回の委員会定期会を開催する。時間確保が難しい。
	4	あなたは、生徒が部活動で目的をもって主体的に取り組み、心身ともに成長するように指導をしている。	10人 5.0%	8人 4.0%	1人 0.5%	0人 0%	
特色ある学校	1	あなたは、八田中の特色である合唱活動を音楽科や時間と協力して、向上させようと努力（援助）している。	13人 6.5%	7人 3.5%	0人 0%	0人 0%	
	2	あなたは、数学の少人数学習形態の授業（2・3年生）で学習の成果が出ていると思う。	10人 5.0%	10人 5.0%	0人 0%	0人 0%	
開かれた学校	1	学校は、学期1回の一斉授業参観、月1回の自由参観、休日行廊開催等、保護者に対し努力している。	11人 5.5%	9人 4.5%	0人 0%	9人 4.5%	

その他（生徒の向上したこと、気づいたこと、改善すべき点があつたら書いてください。）

①個々にはすばらしい能力があるが、それを集団の中で生かせなかつたり、力を合わせて向上する点で課題がみられると思う。
2学期以降、その点を意識して学習や諸活動にあたりたい。

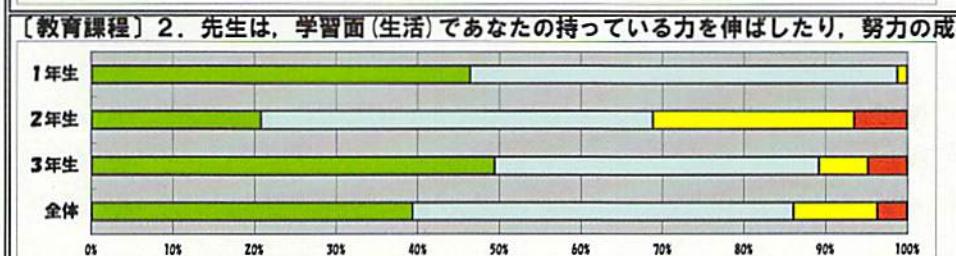
H24 南アルプス市立八田中学校 学校評価(1学期生徒アンケート)





教育課程 1				
	全体	3年生	2年生	1年生
A	110	44	18	48
B	108	30	42	36
C	21	7	14	0
D	5	2	3	0

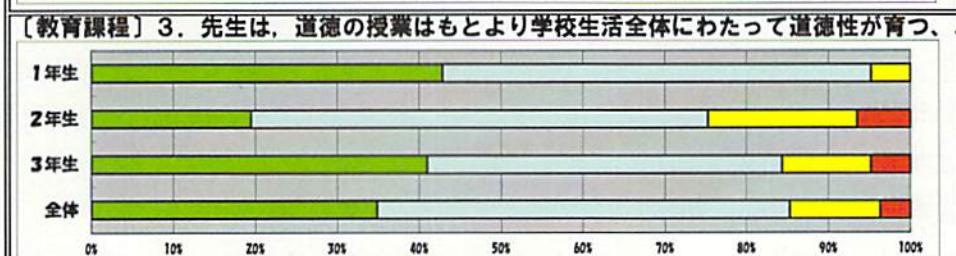
教材の工夫



教育課程 2				
	全体	3年生	2年生	1年生
A	96	41	16	39
B	114	33	37	44
C	25	5	19	1
D	9	4	5	0

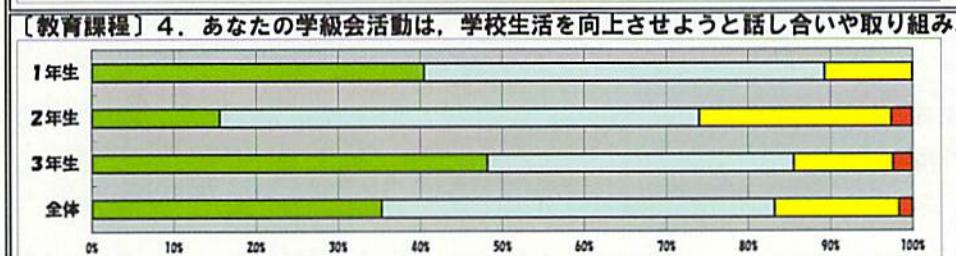
女子の成績の傾向

努力の成果の評価



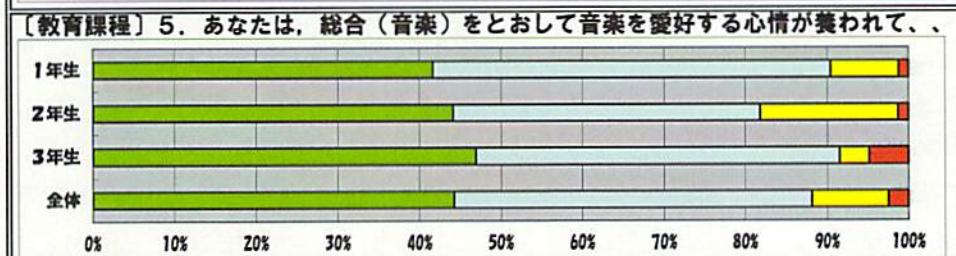
教育課程 3				
	全体	3年生	2年生	1年生
A	85	34	15	36
B	123	36	43	44
C	27	9	14	4
D	9	4	5	0

道德性



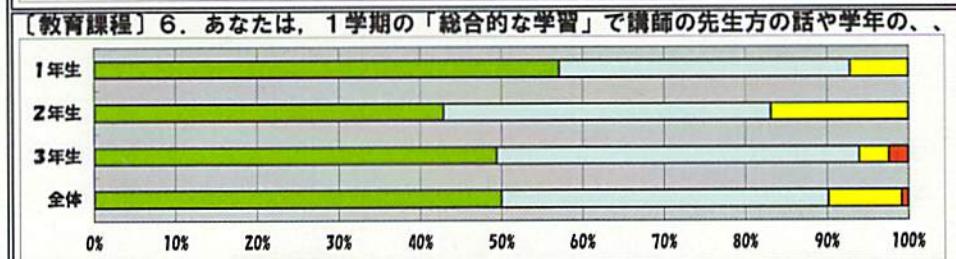
教育課程 4				
	全体	3年生	2年生	1年生
A	86	40	12	34
B	117	31	45	41
C	37	10	18	9
D	4	2	2	0

學級會活動



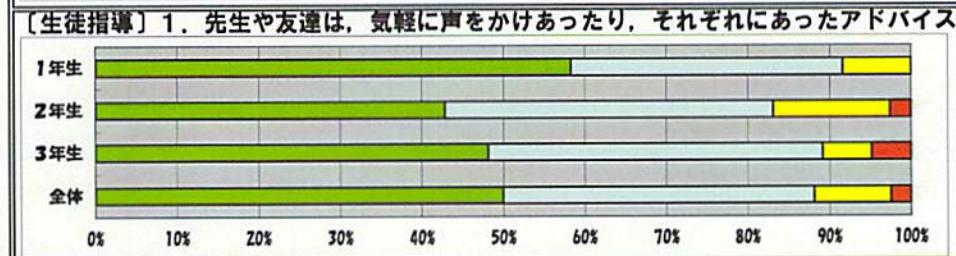
教育課程 5			
	全体	3年生	2年生
A	108	39	34
B	107	37	29
C	23	3	13
D	6	4	1

選択教科



教育課程 6				
	全体	3年生	2年生	1年生
A	122	41	33	48
B	98	37	31	30
C	22	3	13	6
D	2	2	0	0

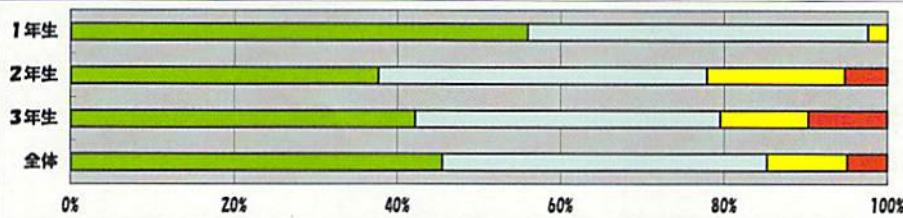
総合的な学習



生徒指導 1			
全体	3年生	2年生	1年生
A 122	40	33	49
B 93	34	31	28
C 23	5	11	7
D 6	4	2	0

アドバイス

〔生徒指導〕2. 先生は、生徒に正しいあり方を指導し、いけないことに対して素早く、

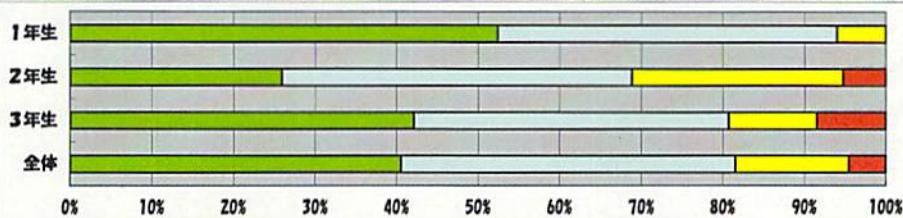


生徒指導 2

	全体	3年生	2年生	1年生
A	111	35	29	47
B	97	31	31	35
C	24	9	13	2
D	12	8	4	0

正しいあり方

〔生徒指導〕3. 先生どうし、先生と生徒、先生と保護者は、相互に協力して、生徒を、

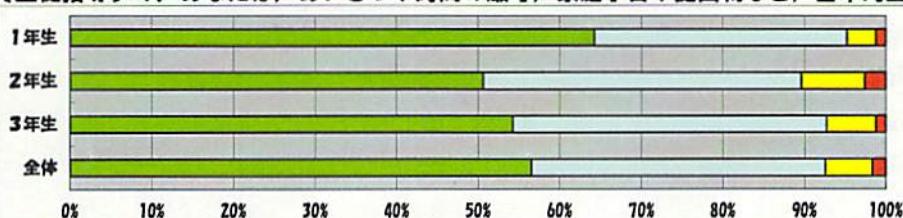


生徒指導 3

	全体	3年生	2年生	1年生
A	99	35	20	44
B	100	32	33	35
C	34	9	20	5
D	11	7	4	0

相互協力

〔生徒指導〕4. あなたは、あいさつや時間の厳守、家庭学習や提出物など、基本的生活習慣を、

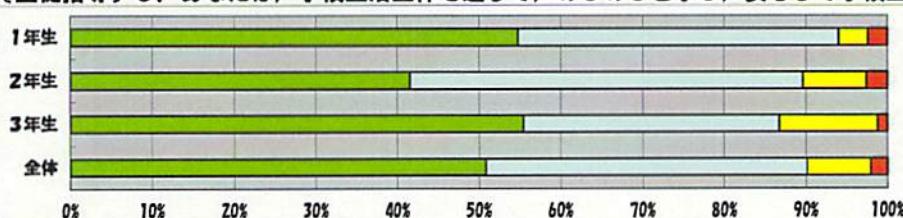


生徒指導 4

	全体	3年生	2年生	1年生
A	138	45	39	54
B	88	32	30	26
C	14	5	6	3
D	4	1	2	1

基本的生活習慣

〔生徒指導〕5. あなたは、学校生活全体を通して、のびのびと学び、安心して学校生活を、

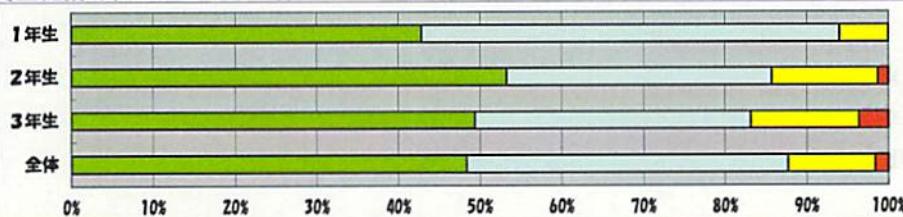


生徒指導 5

	全体	3年生	2年生	1年生
A	124	46	32	46
B	96	26	37	33
C	19	10	6	3
D	5	1	2	2

のびのび

〔生徒指導〕6. あなたの休日(土日・祝祭日)の過ごし方は、充実していると思い、、、、

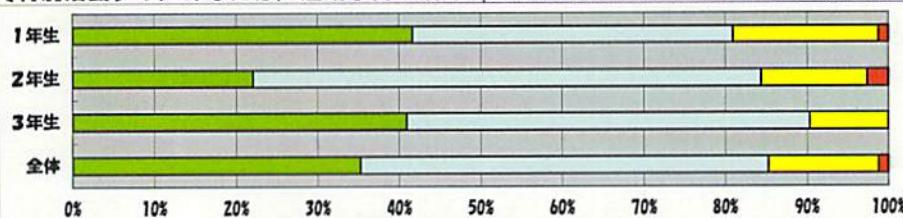


生徒指導 6

	全体	3年生	2年生	1年生
A	118	41	41	36
B	96	28	25	43
C	26	11	10	5
D	4	3	1	0

休日の過ごし方

〔特別活動〕1. あなたは、進路学習や校外学習等に向けた取り組みなど、目標等を決め、

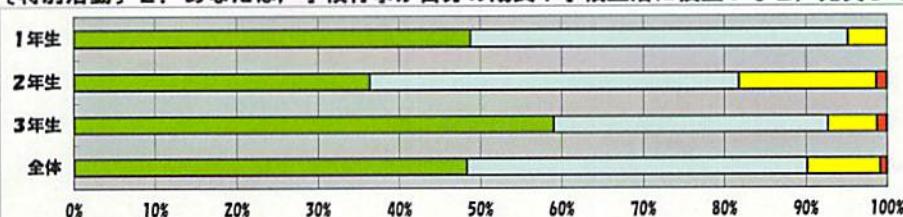


特別活動 1

	全体	3年生	2年生	1年生
A	86	34	17	35
B	122	41	48	33
C	33	8	10	15
D	3	0	2	1

主体的取り組み

〔特別活動〕2. あなたは、学校行事が自分の成長や学校生活に役立つなど、充実して、

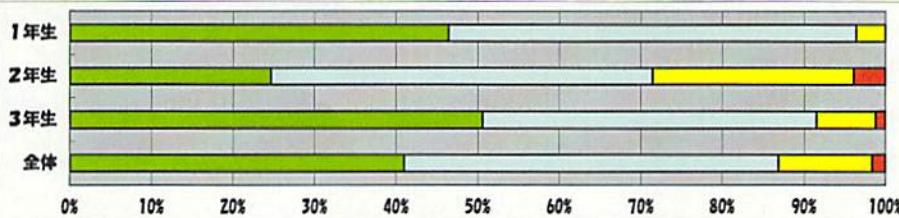


特別活動 2

	全体	3年生	2年生	1年生
A	118	49	28	41
B	102	28	35	39
C	22	5	13	4
D	2	1	1	0

校外学習

〔特別活動〕3. あなたは、生徒会活動や委員会活動等に積極的に取り組んでいますか。

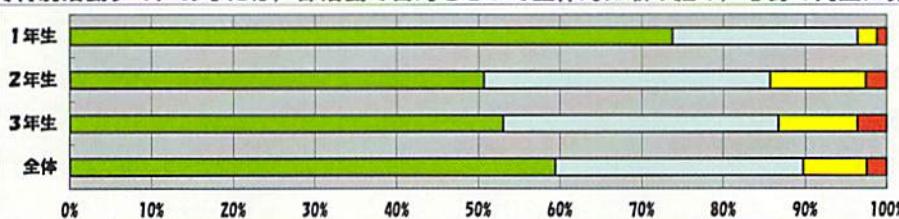


特別活動 3

	全体	3年生	2年生	1年生
A	100	42	19	39
B	112	34	36	42
C	28	6	19	3
D	4	1	3	0

生徒会・委員会

〔特別活動〕4. あなたは、部活動で目的をもって主体的に取り組み、心身の向上に努力しますか。

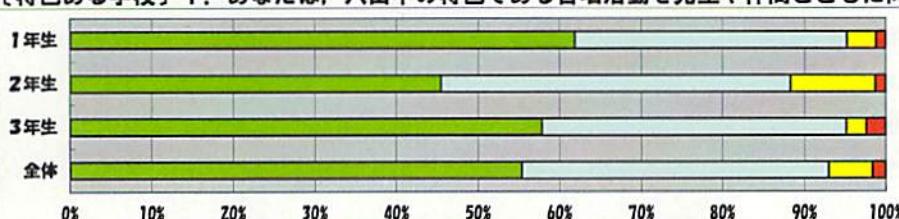


特別活動 4

	全体	3年生	2年生	1年生
A	145	44	39	62
B	74	28	27	19
C	19	8	9	2
D	6	3	2	1

部活動

〔特色ある学校〕1. あなたは、八田中の特色である合唱活動を先生や仲間とともに向上させますか。



特色ある学校 1

	全体	3年生	2年生	1年生
A	135	48	35	52
B	92	31	33	28
C	13	2	8	3
D	4	2	1	1

合唱活動

〔特色ある学校〕2. あなたは、数学の少人数学習形態の授業(2・3年生)やTTT(1年生)で、数学をよりよく理解できますか。

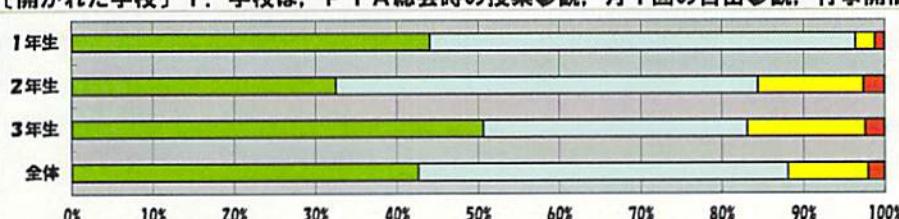


特色ある学校 2

	全体	3年生	2年生	1年生
A	72	40	32	0
B	65	35	30	0
C	18	6	12	0
D	5	2	3	0

数学少人数学習

〔開かれた学校〕1. 学校は、PTA総会時の授業参観、月1回の自由参観、行事開催等で、地域社会との連携を図っています。

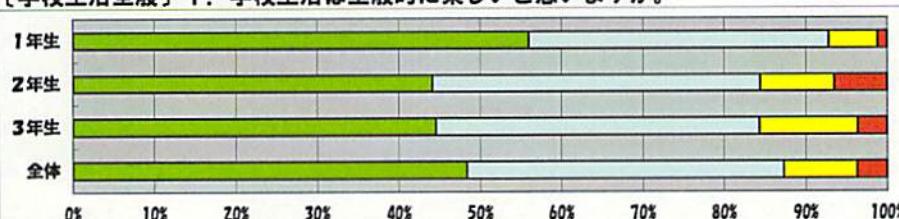


開かれた学校 1

	全体	3年生	2年生	1年生
A	104	42	25	37
B	111	27	40	44
C	24	12	10	2
D	5	2	2	1

授業参観等

〔学校生活全般〕1. 学校生活は全般的に楽しいと思います。

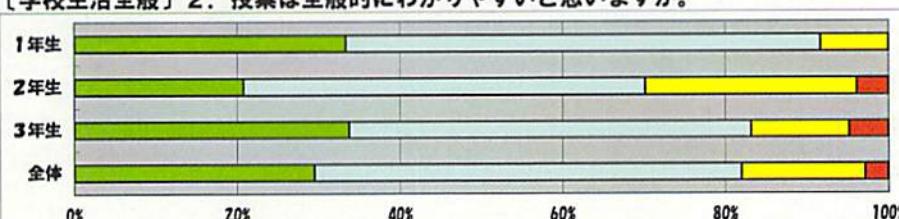


学校生活全般 1

	全体	3年生	2年生	1年生
A	118	37	34	47
B	95	33	31	31
C	22	10	7	5
D	9	3	5	1

学校生活は楽しいと

〔学校生活全般〕2. 授業は全般的にわかりやすいと思います。



学校生活全般 2

	全体	3年生	2年生	1年生
A	72	28	16	28
B	128	41	38	49
C	37	10	20	7
D	7	4	3	0

授業はわかりやすいと

平成24年度前期八田中学校学校関係者評価書

回答者 学校関係者評価委員

清水 祝子（学校評議員、元南アルプス市教育委員長）

田中 和義（学校評議員、地区区長会長） 清水 修（学校評議員、PTA会長）

小林 京子（学校評議員、主任児童委員） 塩原美枝子（学校評議員、本校外部講師）

鶴田 理恵（学校関係者、スクールカウンセラー）

保坂 良住（学校関係者、地区青少年育成カウンセラー）

評価書

1 「本年度の経営方針」及び「学校の概要について」について

- ・教育理念が明確であるため、先生方は指導しやすいのではないか。
- ・小・中一貫校のような中学校であるため、子ども達の意識（生徒間）が固定化されがちだと考えられます。従って経営方針の中の（1）職員の創意工夫により開かれた特色ある・・学校づくりは大変重要でありよく実践がなされていると感心しております。
- ・「学校経営方針」（1）～（4）を実践することにより成果を上げると期待できる。
- ・「学校の概要」について学校経営の努力点（1）～（5）は学校教育目標「知育・德育・体育」の調和のとれた人間形成を達成する内容になっている。
- ・「毎日が楽しい」というとは、今の子どもたち一人一人にとても大切、かつ必要なことだと思います。そのためにも、生徒・家庭・地域との連携、信頼関係を築き、先生方が生徒を理解し、生徒もよいところを評価され自分に自信を持ったり、自分自身の可能性を信じ、さらに卒業後の自分の進路や夢や希望につながっていくといいと思います。

2 全体評価について

（1）職員学校評価

- ・肯定的評価が年々増えている点は喜ばしいことです。先生方が誠心誠意努力なされている姿が読み取れます。
- ・昨年との比較ですべての項目が90%を越えて、反省、改善されたことは素晴らしい。D評価1で向上している。
- ・先生方の学校に対する考え方、取り組みが素晴らしい評価につながっていると感じます。
- ・生徒一人一人と、全体とのバランスを取りながら関わっていくことは大変なことだと思いますが、学習、生活、その他の活動を通して、日々先生方が工夫や努力されていると思います。また個人的には、今年度は家庭内の問題を抱えた生徒の相談も多く、さらに生徒の様子を敏感に感じ取り、家庭との良い形での連携が必要と思われます。先生方の日々のご苦労も感じています。

（2）生徒アンケート

- ・良い傾向にあると思います。二年生の場合は例外点も見受けられますが、逆に問題点を意識しながら良い方向に成長していくのではないかでしょうか。
- ・肯定的評価26項目で学校の方針に理解をしている。三年生の評価について二年次より向上している。二年生の評価については教育課程1・2・3・4の否定的評価が高い。
一年生の評価については「中学校生活に馴染んでいる」と思われる。
- ・八田中の三本柱が生徒達に非常に浸透しているように感じます。教職員の皆様は、この生徒達のやる気をもっともっと伸ばしていただきたい。
- ・生徒アンケートに高低があって当たり前で極端に低いものは別としてあまり気を遣うこと

はないと思います。よく評価できたと感心するほどです。

・全般的に、生徒たちの満足度は高いほうだと思います。特色ある学校、部活、合唱については、生徒たちも意識を持って頑張っている様子がうかがえます。ただ、（昨年の3年生にもあったことですが）2年生が2クラスということも関係すると思いますが、やはり肯定的評価が低いことが気になります。

3 各項目について

(1) 学校経営

- ・校長先生を中心に、先生方が一丸となって八田中教育に取り組まれている姿を頼もしく思います。
- ・お便りを知らせるメール配信はとても好評です。今後も続けてください。
- ・職員評価から全職員の共通理解の元で適切な学校運営がなされている。
- ・学校は社会の縮図ですから、パーフェクトを求めず余裕ある幅広い学校づくりをしていただけるよう願っています。今のままで十分ではないでしょうか。
- ・学園祭、合唱コンクール等の学校行事にも、地域の講師の先生の活用をされ、家庭や地域の方達の注目も高く、中には祖父母、兄弟も含め一家で来られたり、卒業生も来るなど、多くの方達が学校に足を運んでいると感じます。また昨年度よりは向上しましたが、生徒アンケート全般を見ると学校運営1が意外に低いのですが、2学期の取り組み課題にあるように、本人たちの意識を高めるために、何か工夫ができるといいと思います。すでに取り組まれているかもしれません、例えば生徒自身が目標の中から一つを選んで目標達成のための具体的で身近な1年間の目標を立て、それについて各学期ごとに達成できたか評価する等の工夫をすると、生徒自身も努力しやすい気がします。「助け合い、いたわり合う心を持つ生徒」という目標のために「困っている友達がいたら声をかけるようにする」という具体的目標を立て、自分で各学期に振り返って評価するなど。

また学校運営2は生徒評価がさらに高く「合唱、部活、応援」等の集団活動に生徒たちが自覚を持って積極的に取り組んでいる様子が伺え、八田中の伝統が受け継がれていることを感じます。

(2) 教育課程

- ・評価が年々良い傾向になっています。ご指導に創意工夫がなされている姿勢が読み取れました。
- ・新学習指導要領で不利になる学年がでないように計画的に進めてほしい。
- ・自己評価は教師も生徒も肯定感が高く理解を深めている。教科指導は一番重要で、生徒の実態を捉え学習環境を整備していかなければならない。
- ・集団と個の両方に配慮してということはなかなか難しいことだと思いますが、日々先生方が工夫や努力されていると思います。ただ、勉強については一度つまずいてしまうと、そこから先はわからないままになってしまうような傾向もありますので、分析および改善点にもあるように、個々のつまずきをフォローしてもらえるような体制があるといいと思います(放課後の学習フォローや、先生方が部活で難しければ他の学校でも取り入れている放課後の教育ボランティアの導入など)。また、生徒からすると全体との評価もですが、個々の変化や努力に対して声かけ等してもらえると励みになると思います。また、全体の評価は高いのですが、多人数学級となった2年生の評価が多少ですが低いことが気になります。生徒が多いとさらに大変とは思いますが、より一層生徒全体への配慮が必要と思われます。

(3) 生徒指導

- ・様々な問題を抱えた生徒達の変化をとらえ保護者と連絡を取りながら、先生方が対応されていると感じています。ただ、2年生の生徒指導1.2.3の評価が低いことも踏まえ、先生

方がより「日常的な生徒への声かけやアドバイス、生徒への正しいあり方の指導、問題へのすばやい対応、先生同士、生徒、家庭との連携」を意識して取り組む必要もあると思われます。また個人的には、今年度は家庭内の問題を抱えた生徒の相談も多く、さらに生徒の様子を敏感に感じ取り、家庭との良い形での連携が必要と思われ、先生方の日々のご苦労を感じています。

- ・職員学校評価から全職員統一見解の元で生徒指導が行われている。生徒の学校評価も高い。「基本的生活習慣」を身につけさせる指導に期待します。
- ・生徒の「心」の問題については、より慎重に取り組んでほしい。
- ・思春期まったく中の子ども達に対して、先生方の懸命に努力なされている姿がよく見えます（ただし、子ども達の見えない点には要注意を！！）。

(4) 特別活動

- ・子ども達一人一人をしっかりと把握されています。だから、各々の分野において、成果を上げられているのです。
- ・主体的に活動できる状況ができている。外部組織に所属し活躍が見えにくい生徒の増加傾向が気になる。
- ・進路学習や校外学習の取り組み、事前学習の中で、生徒たちが意欲的に取り組み、多くのことを学び、生徒達ががんばっている様子がうかがえます。部活動、委員会活動も盛んに行われており、子どもたちが役割や意欲を持ちながら、先生方のご指導のもと様々な特別活動を行っていると感じています。

(5) 特色ある学校

- ・八田中の合唱を聴くと、おのずとすばらしい取り組みをしているとわかります。下級生が自分たちも3年生のように歌えるようになりたいと感じ、生徒達もとても真剣に又励みに合唱に取り組んでいることはすばらしいことだと思います。また少人数の学習形態は、生徒のペースに合わせることも出来、より学習効果があると思います。また、学園祭の取り組みも縦割りでの活動や、応援指導は生徒主導でされており、後輩が直接先輩とふれあい機会にもなり、新入生などはとても刺激になり先輩との交流を楽しんだり、先輩たちのように自分になりたいとの声も聞かれます。今後も八田中の伝統として続していくといいと思います。
- ・応援のすばらしさは、大勢の教育関係者から聞いております。「選手を励ます」その心は協調性の最高なあらわれだと思います。
- ・「三本の木」を基本に据えて学校全体で取り組まれている。しかも、長年継続されている。子どもたちは幸せです。生涯の宝物になることでしょう。
- ・「合唱活動」について、先生、生徒が一丸となって取り組む結束力が良い成果を生み出しているのではないでしょうか。
- ・職員、生徒とも評価は高い。特色ある合唱活動は向上してもらいたい。学習効果を上げている「数学少人數学習」を活発に取り入れてください。

(6) 開かれた学校

- ・先にも書きましたが、学園祭、合唱コンクール等の学校行事に、家庭や地域の方達の注目も高く、中には祖父母、兄弟も含め一家で来られたり、卒業生も来るなど、多くの方達が学校に足を運んでいると感じます。
- ・学校評議委員会も開かれた、学校らしいすばらしい取り組みだと思いました。ありがとうございました。
- ・職員、生徒とも意識は高い。保護者の積極的な参加に期待します。
- ・各種のお便りを通して、また授業参観や合唱発表、学園祭などの公開を通して努力なされている様子が伺えました。
- ・一番驚くのは、合唱祭、合唱コンクール等の学校行事に、父母の参加が多いことです。

そして一生懸命応援する姿は感動的で開かれた学校づくりをしている。

・部活動を見学できる等、普段の生徒達を見る能够ができるような、足を運びやすいような工夫をしていただけないと良いかと思います。

(7) 学校生活全般(生徒のみ)

・全体評価は高い。2年生「授業はわかりやすい。」AB評価70%は少し気になる(学級減が影響していると思います)。

・子ども達がよく挨拶をする、気持ちの良い学校ですね。

・様々な状況、問題を抱えた生徒達もあり、先生方も日々変化をとらえながら対応されていると思います。集団と個の両方に配慮してということはなかなか難しいことだと思いますが、すべての生徒が、学習への意欲を持ちながら、学校生活を楽しく感じられるようになっていくことができるといいと思います。

・良い方向に進んでいると思います。子ども達の心の中(表に表れない部分)には十分に意識することが要求されるのではないでしょうか。

4 成果と課題

・成果と課題についてはすでに「分析と改善策」でとても緻密な分析がなされ、まさにそのとおりだと思います。先にも書いたように、それぞれの項目での成果、課題があると思いますが、先生方と生徒と同じアンケートをして評価するという形は、同じ評価もあつたりギャップがあつたりする中で、それに気づくことができ、さらにどうしていくとよいのか考えていく事は、八田中が今後もよりよくなっていくことにつながっていくと思います。

・年々評価が向上している。「三本の木の充実」・・・すばらしい成果です。

・先生方が問題点をしっかりと把握されて2学期に向かわれていますので、その想いは子ども達に十分伝わっていきます。

・このまま発展すればよいのではないかと思う。

・教職員自己評価、生徒アンケート評価ともに高く、成果を上げている。

・全職員の共通理解のもとで教育活動が展開されている。生徒の実情を見ながら学校経営、運営に当たって下さい。

5 その他気づいた点や意見など

・多忙な上に様々な問題点の多い、教育現場であることは私たち一般人にもよく理解されています。先生方には心にゆとりを持って指導なされて下さることを願っています。お体には十分留意なされることを忘れる事のないように・・・本当にご苦労様です。

・2年生のアンケート結果が1、3年生と比べると若干悪いのが気になります。心の問題などをかかえている生徒が多いのかもしれません。

・各学年、学級のカラーがだんだんはっきりしてくる学期に入ります。外部から関わる立場としてがんばって応援するつもりです。気づいたことはその場で言わせていただきます。

・私自身、「八田中はいい学校だなあ」と日々感じています。生徒一人一人と、全体とのバランスを取りながら関わっていくことは大変なことだと思いますが、学習、生活、その他の活動を通してながら、日々先生方が工夫や努力されていると感じています。

以上、平成24年度前期学校関係者評価委員の皆様から寄せられた回答のまとめです。

この報告書が今後の教育活動に生かされ、八田中がより良くなるために、生徒・教職員・家庭・地域が手を携えて進んでいければと思います。